

フロム あらかわ



六地藏(土湯温泉町)



荒川砂防出張所からのお便りです。

No.12



須川第2砂防えん堤 (現在整備中!)



掘削作業を行っています。

【流域の概要】

須川は、流路延長が15kmの一級河川で、奥羽山脈の吾妻山が源流です。溪流は、微温湯、高湯等の温泉が点在する急流部を下り、途中、天戸川・白津川・鍛冶屋川を合流し荒川に注ぎます。吾妻山は火山地域であるため、国が火山砂防事業を実施している流域になっています。

【須川第2砂防えん堤の概要】

須川第2砂防えん堤は、信夫温泉より下流850mの位置に整備します。えん堤の構造は土砂整備効果が高い透過型(コンクリートスリットえん堤)を採用しました。完成すると高さは14.5m、長さ86mのえん堤となります。平常時と中小の洪水の時は、スリットから土砂を供給して川の自然を保つ働きをし、大洪水の時は、堰上げ効果により大量に流れてくる有害な土砂を砂防えん堤に貯めて、下流地域の土砂災害を防ぐ役割を担います。工事には平成19年8月に着手しました。

【コスト縮減】

えん堤本体と同じ強度を持つ残存型枠を使用しコスト縮減を図ります。残存型枠は通常の型枠工法に比べて型枠解体作業が不要となるので、安全度が向上します。また、通常型枠に比べ組み立て作業も短時間で済むため、工期を短縮する事もできコスト縮減につながります。



【型枠設置状況】

えん堤本体と同じ強度の型枠を工場で作成します。型枠の組み立ては、足場をほとんど必要としないので安全に作業ができます。



【現在の状況】

今年度は、14.5mのうち3.5mまで施工しました。一段低く溝のようになっている所がスリットの部分です。



★ 荒川砂防探検 ★



- 荒川遊砂地大暗渠砂防えん堤 -



国道115号から望む大暗渠（平成18年3月竣工）
大暗渠は、堤長252m、堤高9mの砂防えん堤です。



大暗渠の形状は、直径6mの半円が全部で9門あります。



普段の様子

2007.9月 撮影



洪水の様子

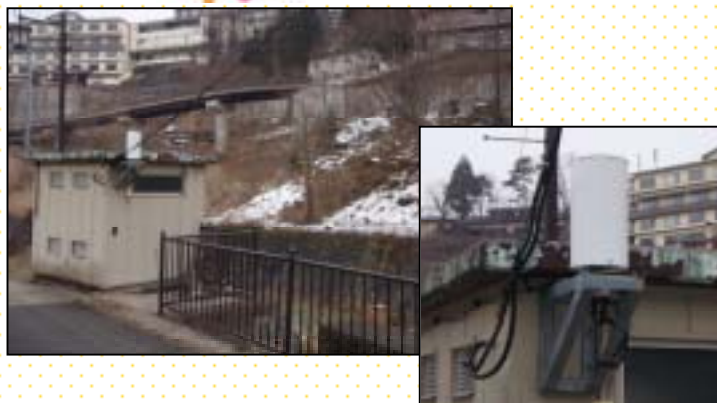
2007.9月 撮影(台風9号)



荒川遊砂地大暗渠砂防えん堤は、上流から流れ出る土砂を一時的に貯留し災害を防止する砂防施設です。平常時には川の流れや魚の遡上を妨げず、大規模な土石流が発生した場合にはこの大暗渠で土砂を適切にコントロールします。また、毎年開催されているイベント「みずウォーク」や「クロスカントリー」のコースにもなっています。大暗渠砂防えん堤は地蔵原えん堤の上流「荒川遊砂地」内にあります。



QUIZ “これ”ってな～んだ？



土湯温泉町に設置してある写真の施設
これって一体何でしょうか？

次のヒントをみて考えてみましょう！

ヒント1：大雨、台風の際に大活躍します。

ヒント2：普段(晴天時)は作動していません。

土湯温泉町の他にも各地点に設置されています。

～ 正解と解説は次号にてお知らせします。～

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

国土交通省 福島河川国道事務所 荒川砂防出張所



ご意見、ご感想、砂防に関するお問い合わせはこちらまで！

「フロムあらかわ」編集係

024(593)-0831(代表)

例年以上にスギ花粉が舞っています。症状のある方は悪化させないよう万全の対策を！

次号から、昨年末に「登録有形文化財」として答申された荒川に設置されている”地蔵原えん堤”及び”荒川砂防えん堤群”を紹介していきます。

(平成20年3月26日作成)